



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 四年生

## 十月 第4週



# 学習を始める前に

## ①必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具

## ②注意

- ・大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・このビデオで使っているスライドを印刷いんさくしたい人は、最後のお知らせを見てください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示しじにしたがってください。



- ・必要ひつようがあるときは、ビデオを止めた  
り、もう一度ビデオを見たりしてく  
ださい。

## 先週の宿題から

### 1. 漢字

新しい漢字の復習をしましょう。

2. 音読 新聞記事「サンマ不漁で高級魚」ふりようを読み  
ましょう。

### 3. 漢字の学習

次のア・イのうち、漢字の使い方の正しい方を選び  
ましょう。

- ①  ア お米の代わりにおいもが配給されました。  
イ お米の変わりにおいもが配給されました。
- ②  ア お父さんはあわてて帰つてきました。  
イ お父さんはあわてて返つてきました。
- ③ ア ミシンの音が、早くなったり、おそくなったり。  
 イ ミシンの音が、速くなったり、おそくなったり。
- ④  ア また、ゆみ子は笑い始めました。  
イ また、ゆみ子は笑い初めました。

## 文と文をつなぐ言葉

雨がふりそうだ。  
かさをもっていかない。

しかし

だから

・雨がふりそうだ。

しかし

、かさをもっていかない。

この場合、  
つながり方がはっきりします。

に「しかし」を入れると、二つの文の

「しかし」は、前の文から予想されないことや、前の文と反対のことが後ろに来るときに使われます。雨がふりそうなら、ふつうは、かさを持っていくでしょう。「かさを持っていないか。」は、予想されないことに当たります。

「だから」は、前の文が後ろの理由になるときや、前の文から当然予想されることが後ろに続くときに使われます。

・雨がふりそうだ。

だから

、かさを持っていく。

「しかし」や「だから」のように、前の文と後ろの文のつながりをはっきりさせる言葉を、**接続語**といいます。接続語は、語と語や、段落と段落をつなぐこともあります。

《新しい漢字》

接続語



## 文と文をつなぐ言葉

接続語は、内容と内容のつながり方をはつきりさせるだけでなく、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。

次の二つの文を見てみましょう。

徒競走のとき、必死で走った。  
二位だった。

この二つの文は、「だから」「しかし」のどちらでもつなぐことができます。

・徒競走のとき、必死で走った。

だから

二位だった。

・徒競走のとき、必死で走った。

しかし

二位だった。

「だから」を入れると、「二位になれてうれしい」という気持ちが表れます。

「しかし」を入れると、「二位になってくやしい」という反対の意味になります。



《新しい漢字》

トキヨウ  
徒競走

接続語は、いろいろな関係で文をつなぎます。

接続語	働き	例文
だから・それで・ そのため	前の文を理由とする 文が、次に来ること を表す。	田中さんは、歴史 <small>れきし</small> に きょうみがある。だから、 よく歴史博物館に行く。
しかし・それで も・でも・けれど も	前の文と反対になる ような文が、次に来 ることを表す。	母と衣料品を買いに行つ た。しかし、気に入った ものは見つからなかった。
また・そして・し かも	前と後ろの文が、同 じようにならんでい ることを表す。前の 文に、後ろの文を付 け加えることを表す。	健康をたもつには、十分 なすいみんなが欠かせない。 また、栄養のある食事も 必要だ。
それとも・あるい は・または	前の文と後ろの文を くらべたり、どちら かを選んだりするこ とを表す。	今度の祝日 <small>しゅく</small> は、デパート に行きますか。それとも、 公園に行きますか。
つまり・要する <small>ようす</small> に・例え <small>たと</small> ば	前の文についての説 明を表す。	今年も決勝戦で敗れた。 つまり、二年連続で二位 ということだ。
では・ところで・ さて・いっぽう	話題を変えることを 表す。	この話は、ここまでにし ましょう。では、明日の 牧場見学の話をします。



(1) 正しい文になるように「だから」「しかし」のどちらかを書きましよう。

- ① 食堂が殺風景だと食事が楽しくない。( )、テーブルに梅の花をかざった。
- ② 市内の学校コンクールで優勝した。( )、県大会では入賞できなかった。
- ③ 努力した。( ) 成功したのだろう。
- ④ 出航して三週間もたった。( )、目指す陸地はいつこうに見えない。
- ⑤ 三時間もさがし回った。( )、友達に会えなかった。
- ⑥ 駅まで走った。( )、予定の電車に乗れた、
- ⑦ ものすごく練習した。( )、一位になれなかった。
- ⑧ ものすごく練習した。( )、自信を持って走れた。

《新しい漢字》

食堂 ドウ  
シヨウ

殺風景 サツプウケイ  
コウ

梅 うめ  
リク

努力 ド

成功 コウ

合唱 シヨウ  
ウ



(1) 正しい文になるように「だから」「しかし」のどちらかを書きましよう。

- ① 食堂が殺風景だと食事が楽しくない。( **だから** )、テーブルに梅の花をかざった。
- ② 市内の学校コンクールで優勝した。( **しかし** )、県大会では入賞できなかった。
- ③ 努力した。( **だから** ) 成功したのだろう。
- ④ 出航して三週間もたった。( **しかし** )、目指す陸地はいつこうに見えない。
- ⑤ 三時間もさがし回った。( **しかし** )、友達に会えなかった。
- ⑥ 駅まで走った。( **だから** )、予定の電車に乗れた。
- ⑦ ものすごく練習した。( **しかし** )、一位になれなかった。
- ⑧ ものすごく練習した。( **だから** )、自信を持って走れた。

## 《新しい漢字》

食堂 ドウ  
シヨウ

殺風景 サツブウケイ  
コウ

出航 コウ

梅 うめ  
リク

陸地

努力 ド

成功 コウ

合唱 シヨウ  
ウ





# 新しい漢字

書いて覚えましょう

衣料品 イ

衣衣衣衣

接続語 セツゾク

続続続続続続

続続続続続続

食堂 ドウ

堂堂堂堂堂堂堂堂

殺風景 サツプウケイ

殺殺殺殺殺殺殺殺

景景景景景景景景

景景景

梅 ウメ

梅梅梅梅梅梅梅梅

努力 ドツ

努力努力努力努力

成功 コウ

功功功功功功



合唱 シヨウ

唱唱唱唱唱唱唱唱唱唱

入賞 シヨウ

賞賞賞賞賞賞賞賞賞賞

賞賞賞賞賞

出航 コウ

航航航航航航航航航航

陸地 リク

陸陸陸陸陸陸陸陸陸陸

徒競走 トキョウ

徒徒徒徒徒徒徒徒徒徒

競競競競競競競競競競  
競競競競競競競競競競  
競競競競競競競競競競



読み方を漢字ノートに書きましよう。

《 答え合せをこの後します。 》

衣料品

接続詞

食堂

殺風景

梅

努力

成功

合唱

入賞

出航

陸地

徒競走



読み方を書きましょう。

《 答え合せをしましょう。 》

衣料品

いりようひん

接続語

せつぞくご

食堂

しょくどう

殺風景

さつふうけい

梅

うめ

努力

どりよく

成功

せいこう

合唱

がっしょう

入賞

にゆうしょう

出航

しゅつこう

陸地

りくち

徒競走

ときようそう

## 問題に答えましょう。

「しかし」は、前の文から予想されないことや、前の文と反対のことが後ろに来るときに使われます。雨がふりそうなら、ふつうは、かさを持っていくでしょう。「かさを持っていないか。」は、予想されないことに当たります。

「だから」は、前の文が後ろの理由になるときや、前の文からとうぜん予想されることが後ろに続くときに使われます。

(1) 次の接続語はそれぞれどんな場合に使われますか。まとめましょう。

「だから」・・・

「しかし」・・・

(2) 正しい接続語はどちらでしょう。「だから」「しかし」のどちらかを入れましょう。

① 雨が急にふり出した。( )、試合は中止になった。

② 雨が急にふり出した。( )、試合は続けられた。

③ 駅まで走っていった。( )、乗るつもり列車に間に合わなかった。

④ 明日は遠足だ。( )、早くねた。



## 問題に答えましょう。

「しかし」は、前の文から予想されないことや、前の文と反対のことが後ろに来るときに使われます。雨がふりそうなら、ふつうは、かさを持っていくでしょう。「かさを持っていないか。」は、予想されないことに当たります。

「だから」は、前の文が後ろの理由になるときや、前の文からとうぜん予想されることが後ろに続くときに使われます。

(1) 次の接続語はそれぞれどんな場合に使われますか。まとめましょう。

「だから」・・・  
前の文が後ろの理由なるとき。前の文からとうぜん予想されることが後ろに来るとき。

「しかし」・・・  
前の文から予想されないことや、前の文と反対のことが後ろに来るとき。

(2) 正しい接続語はどちらでしょう。「だから」「しかし」のどちらかを入れますよう。

- ① 雨が急にふり出した。 ( だから )、試合は中止になった。
- ② 雨が急にふり出した。 ( しかし )、試合は続けられた。
- ③ 駅まで走っていった。 ( しかし )、乗るつもり列車に間に合わなかった。

- ④ 明日は遠足だ。 ( だから )、早くねた。



(3) 次の文は、書き手のどんな気持ちを表していますか。―線の接続語に注意して、それぞれの気持ちを書きましよう。

① 必死で練習した。しかし、大会では三位だった。

② 必死で練習した。だから、大会では三位だった。

(4) 「だから」「しかし」と同じ働きをする接続語を二つずつ選びましよう。

- ① だから ( ) ( ) ( )
- ② しかし ( ) ( ) ( )

ところが それで あるいは でも したがって

(5) ( ) にあてはまる接続語を [ ] から選びましよう。

① 夕方から雨がふりそうだ。 ( ) ( )、かさを持ってきた。

② 努力はした。 ( ) ( )、失敗してしまった。

③ この料理はおいしい。 ( ) ( )、栄養がある。

④ とてもねむい。 ( ) ( )、昨日寝たのが遅かったからだ。

⑤ 電話をください。 ( ) ( )、手紙をください。

しかし または なぜなら だから しかも  
ところで



(3) 次の文は、書き手のどんな気持ちを表していますか。―線の接続語に注意して、それぞれの気持ちを書きましよう。

① 必死で練習した。しかし、大会では三位だった。  
三位だったことをくやしく思う気持ち。

② 必死で練習した。だから、大会では三位だった。  
三位だったことをうれしく思う気持ち。

(4) 「だから」「しかし」と同じ働きをする接続語を [ ] から二つずつ選びましよう。

- ① だから ( **それで** ) ( **したがって** )  
② しかし ( **とところで** ) ( **でも** )

ところが それで あるいは でも したがって

(5) ( ) にあてはまる接続語を [ ] から選びましよう。

① 夕方から雨がふりそうだ。 ( **だから** )、かさを持ってきた。

② 努力はした。 ( **しかし** )、失敗してしまった。

③ この料理はおいしい。 ( **しかも** )、栄養がある。

④ とてもねむい。 ( **なぜなら** )、昨日寝たのが遅かったからだ。

⑤ 電話をください。 ( **または** )、手紙をください。

しかし または なぜなら だから しかも  
ところで





(6) ( ) にあてはまる接続語を   から選びましょう。

① 明日は休みだ。( )、遊びに行くよ。

② 必死で追いかけた。( )、にげられた。

③ 一月一日、( )、元旦がたん生日です。

④ 月曜日、( )、水曜日に来てください。

⑤ 今日は寒いね。( )、今何時だろう。

しかし                      または                      だから                      つまり  
ところで

## 言葉の学習

次の一線の言葉を正しく使っているものを選びましょう。

① ア はいしやさんに大きい口ぐせを見せた。

イ 「勉強しろ」は、父の口ぐせだ。

ウ かれはときどきぽつりと口ぐせをする。

( ) ( )

② ア ねこが、ぼくにたえず飛びついてこない。

イ 最後に相手が投げたボールを、たえず遠くへ打ち返した。  
ウ 食事中に、たえず電話が鳴っていた。

( ) ( )



(6) ( ) にあてはまる接続語を   から選びましょう。

① 明日は休みだ。( **だから** )、遊びに行きよ。

② 必死で追いかけた。( **しかし** )、にげられた。

③ 一月一日、( **つまり** )、元旦がたん生日です。

④ 月曜日、( **または** )、水曜日に来てください。

⑤ 今日は寒いね。( **ところで** )、今何時だろう。

しかし                      または                      だから                      つまり  
ところで

## 言葉の学習

次の―線の言葉を正しく使っているものを選びましょう。

① ア はいしやさんに大きい口ぐせを見せた。

イ 「勉強しろ」は、父の口ぐせだ。

ウ かれはときどきぽつりと口ぐせをする。

( **イ** )

② ア ねこが、ぼくにたえず飛びついてこない。

イ 最後に相手が投げたボールを、たえず遠くへ打ち返した。  
ウ 食事中に、たえず電話が鳴っていた。

( **ウ** )



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

新しい漢字の復習をしましょう。

### 2. 音読 「文と文をつなぐ言葉」を読みましょう。

### 3. 言葉の学習

次の文の（ ）にあてはまる言葉を、から選びましょう。同じ言葉を何回使ってもかまいません。

① 食べる物といえは、おいも豆やかぼちや（ ）あり  
ませんでした。

② そのころは、おまんじゅう（ ）、キャラメル  
（ ）、チョコレート（ ） 、そんな物はどこへ  
行ってもありませんでした。

③ そこから、ミシンの音が、たえず速くなつ（ ）、  
おそくなつ（ ） 、まるで、何かお話をしているかの  
ように、聞こえてきます。

④ おにぎりを、一つ（ ） ちようだい。

⑤ 喜びなんて、一つだってもらえない（ ） しれない  
んだね。

しか かも たり だの まで だけ



## お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
ダウンロードや印刷ができます。



# JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

# 小学校

# 四年生

# 年間学習表



# 身につけたい力

7月	6月	5月	4月		
	<p>伝言はまちがえずに 伝言をまちがえずに 伝えるために注意す ることをおぼえよう。</p>		<p>三つのお願い 友だちと喧嘩をした 経験や仲直りをして うれしかった経験を 話そう。</p>	<p>話す／聞く</p>	<p>1年間の学習を通し て 先生の話聞き、学 習を進めよう。</p>
<p>伝えたいことを書く う 事実を正確に伝える 記事の書き方を学び、 記事を書こう。</p>	<p>春のうた 春になるとみられる 生き物や草花の、詩 を書こう。</p>	<p>「かむ」こと 二つのまとまりそれ ぞれを、短くまとめ よう。 (要約しよ う。)</p>	<p>手紙を書く 手紙の書き方を覚え て、友だちに手紙を 書こう。</p>	<p>書く</p>	<p>新聞記事 記事の内容をまとめ、 記事に対する自分の 意見を書こう。</p>
<p>伝えたいことを書く う 新聞には、どんな工 夫がされているか知 ろう。</p>	<p>春のうた 場面の様子やかえる の気持ちを想像しな がら読もう。 かえるの気持ちが表 れるように音読しよ う。</p>	<p>「かむ」こと 段落と段落のつなが りに気をつけて 読み、内容をつかも う。</p>	<p>三つのお願い ばめんの様子や物語 に出てくる人の気持 ちを想像して読もう。</p>	<p>読む</p>	<p>新聞記事 子ども新聞を読もう。</p>
<p>いろいろな符号 いろいろな符号の働 きを知ろう。</p>	<p>ローマ字 ローマ字の書き方や 決まりを知って、 ローマ字で書いてて みよう。</p>	<p>漢字辞典の使い方 漢字辞典の使い方 を知り、実際に使っ て熟語を調べよう。</p>	<p>〈漢字の組み立て〉 漢字を部分に分けて、 部分の名前を覚えよ う。漢字の部分がも つ意味を知ろう。</p>	<p>言葉</p>	

12月	11月	10月	9月	8月	
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、発信しよう。</p>			<p>伝え合うということ            調べたことを発表する方法について学び、調べたことを発表しよう。</p>		<p>話す／聞く</p>
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思うことを調べて、新聞の形に書こう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に            友だちの詩を参考に、詩を書こう。</p>	<p>アップとルーズ            段落ごとの内容をまとめよう。</p>	<p>一つの花            戦争中と戦争後の場面をくらべて、そのちがいをまとめよう。</p>	<p>伝え合うということ            自分の課題を見つけて、作文を書こう。</p>	<p>本のしょうかい            読んだ本の紹介カードを作ろう。</p> <p>白いぼうし            いちばんおもしろいな、すてきだなと思うところ、心に残るところ書こう。</p>	<p>書く</p>
<p>自分の考えを発信しよう            自分がくわしく知りたいことや疑問に思ったことの発信の仕方を知ろう。</p> <p>心のつぶやきを言葉に            友だちの詩を味わおう。</p>	<p>アップとルーズ            段落ごとの内容を読み取り、文章の組み立てをとらえよう。</p>	<p>一つの花            場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読もう。</p>	<p>伝え合うということ            「手と心で読む」を読んで、伝え合うことについて考えよう。</p>	<p>白いぼうし            様子や気持ちを表す言葉に注意して、場面の様子をつかもう。</p>	<p>読む</p>
	<p>いろいろな意味をもつ言葉            かなで書くと同じでも、意味のちがう言葉について考えよう。</p>	<p>文と文のつながり            接続後の働きを知り、正しく使えるようにしましょう。</p>	<p>にた意味の言葉            にた意味の言葉の違いを知り、ただしくつかえるようになるう。</p>	<p>同じ訓を持つ漢字            同じ訓を持つ漢字それぞれの意味と使い方を知ろう。</p>	<p>言葉</p>

	3月	2月	1月	
				話す／聞く
	<p>ごんぎつね 登場人物の気持ちの うつり変わりをもち に、この作品を、自 分で思ったことを、自 分なりにまとめてみ よう。</p>	<p>言葉遊び 自分で言葉遊びを作 ろう。</p>	<p>表やグラフにして 生活にかかわる問題 についてしらべて、 文章にまとめよう。</p>	書く
	<p>ごんぎつね 物語のあらすじをお さえ、場面の様子 想像しよう。 登場人物の気持ちの うつり変わりを読み 取ろう。</p>	<p>言葉遊び いろいろな言葉遊び を知ろう。</p>	<p>表やグラフにして 表やグラフを使った 文章について知ろう。</p>	読む
<p>〈四年生の漢字〉 四年生で習った漢字 の復習をしよう。</p>		<p>漢字しりとり 漢字のしりとりをし て、漢字の読み方や 使い方を覚えよう。</p>	<p>熟語の意味 漢字の訓や漢字の組 み合わせで、熟語の 意味をつかめるよう にしよう。</p>	言葉